

女性のつながりサポート相談事業【島根県】

個別事業費	4,889 千円
交付金額	3,667 千円

地域の実情と課題

- 全国平均と比べ、非正規の職に就いている女性の割合が多く、また、東西に長く離島を有する本県は、孤独・孤立で不安や課題を抱える女性を支援する民間団体も少なく、県内各地にまで支援が行き届いていない状況がある。
- 支援団体のない離島地域、自らSOSの声を上げることが困難な女性など、様々な事情による不安や悩みを抱える層にも支援を届ける体制づくりが必要。

事業の特徴

- 相談会等事業については、各委託団体が、これまでそれぞれの地域を拠点に実施してきた集いの場の提供、相談会等の取り組みを拡大し、アウトリーチも実施。県内各地に活動を広げ、相談交流会やSNSの活用等、困難を抱える女性同士が繋がる居場所づくりを推進。
- 相談者の抱える課題に応じて、県内関係機関と連携を図るとともに、連携後の適切なフォローアップや自立に向けた継続的な支援を実施。

事業の効果

- これまで支援が届かなかった地域に出向いたり、オンラインでの相談交流会を行うことで県内各地の様々な困難を抱える女性への支援を拡大できた。(相談交流会:両団体合計27回(内オンライン相談会3回))
- 相談に繋がりにくい方にアウトリーチ相談、SNS相談(78件)などの支援を強化した。
- 市町村の担当者と連携し、市町村の行事で事業説明を行うなど連携強化を図った。

目的・目標

- シングルマザー支援団体における個別相談件数の増加880件(目標550件以上)
- 母子寡婦支援団体が主催する相談会・交流会参加者の増加63名(目標90名以上)
- ※県内各地の幅広い女性が相談しやすい環境が整いつつある。

連携団体

- 以下2団体へ委託
 - ・相談会交流会等
しんぐるまざあず・ふおーらむ出雲(島根)
一般財団法人 島根県母子寡婦福祉連合会
- 上記団体を中心に下記団体が連携
 - ・各市町村担当課、社会福祉協議会、児童相談所、女性相談センター、県内開業助産院、こども食堂等

今後の課題

- 県内各地の相談体制は整いつつあるが、相談会・交流会への参加が難しい方に対するアウトリーチ支援の取組を強化すること。
- 相談者の自立に向けた継続的・専門的な支援やアフターフォローを行いつつ、女性の抱える多様な悩みに対応できる支援者の育成、スキルアップを図ること。

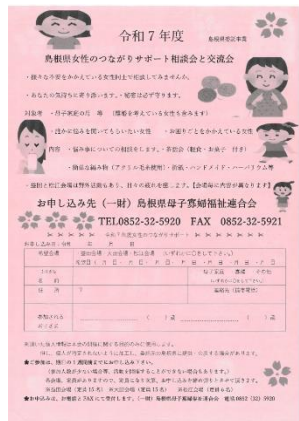
女性のつながりサポート相談事業

対象者

シングル女性・ひとり親女性・一般女性等

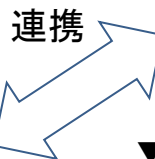
- ・案内チラシ・SNS等による情報発信
- ・衛生用品の配布による交流会参加のきっかけづくり

▼相談交流会の様子①



▲案内チラシ

〈県内関係機関〉
市町村・社会福祉協議会・児童相談所・女性相談センター・開業助産院・子ども食堂等



▼相談交流会の様子②



委託団体:しんぐるまざあず・ふおーらむ出雲(島根)

一般財団法人 島根県母子寡婦福祉連合会

・県内各地で相談交流会を実施(計27回実施(内オンライン相談会3回))

・電話やメール、SNS等を活用した個別相談対応(計880件)

情報共有



専門支援相談機関につなぐ等、適切なフォローアップ